

新入生諸君へ ～入学にあたり～

本校の正門脇に根を張る桜の老木は、本来ならば、満開の花を咲かせて、逞しく生きる喜びを新入生諸君に伝えるはずでしたが、今はもうすっかり青葉を茂らせ、初夏の到来を予感させています。

このふた月、皆さんはどのように過ごしていましたか。

280名の新入生の皆さん、あらためて、入学おめでとう。

明善高校は、今年で141年目を迎える県内屈指の伝統校であり、「克己・尽力・楽天」の校訓のもと、学習活動はもとより、学校行事や部活動を通して互いに切磋琢磨する校風を基盤としながら、常に次の時代をリードする人材を育ててきました。様々な個性と知的な刺激に満ち溢れた魅力ある学校です。

皆さんが、この素晴らしい環境を存分に活用し、社会に対して責任を全うできる人間として成長することを願っています。

さて、本校の一員となった皆さんに、私から三点お話しします。

一点目は、新型コロナウイルスについてです。

新型コロナウイルスが私たちの生活に甚大な影響を与えています。世界中の感染者数は現在までで約500万人、死者数は33万人に達しており、アメリカだけで9万人を超えています。欧米では都市封鎖、いわゆるロックダウンが行われ、各国の本年度のGDPは昨年度を大きく下回り、リーマンショックを上回る経済不況の到来が予想されています。ある海外の歴史学者は、「新型コロナウイルス

によって、あらゆる世界観や価値観が変わろうとしている。」と述べ、また別の経済学者は「新型コロナウイルスが世界の歴史を変える。1929年の大恐慌以来の出来事である。」と述べています。彼らの言葉がどれほど正しいかは歴史の審判を待たなければなりません。私たちが今経験していることが歴史の一頁に刻まれることは間違いないでしょう。あたりまえだと思っていたことが、あたりまえではなかった。ありふれた日常がこんなにも有難いものだった。誰もが失って初めて気づきました。

これまでにない大きな危機を体験すると、社会の価値観は大きく変わるといわれています。いわゆる「コロナ後」とか「ポストコロナ」と呼ばれる新型コロナウイルス終息後の世界はどのように変化するのでしょうか。私達が直面している、これまでの価値観を変えてしまうような歴史的出来事の推移をよく見つめ、今後、自分はどうあるべきか、どう進むべきか、また、今、何をなすべきかを考えてください。生徒諸君がこの経験から多くのことを学び、混乱するコロナ後の社会、コロナ後の日本を導く人材となることを切に願っています。

二点目は「予測不可能な出来事に多く直面する時代」についてです。

近年、急速に進む少子高齢化による生産年齢人口の減少や人・物・情報、そしてコロナウイルスのような疾病までもが地球規模で移動するグローバル化の進展等によって、社会構造は急速に変化し、複雑さを増し、これまで経験したどの時代よりも、多くの予測不可能な出来事に直面する時代に私たちは生きています。四ヶ月前、ここにいる何人がコロナウイルスによる現在の状況を予測できたでし

ようか。予測不可能な出来事をなんとか乗り越えていかなければならない。そういう厳しい時代に私たちは生きています。

このような時代を生き抜くために、私達はどのような力を身につければよいのでしょうか。予想もしていなかった困難に直面した状況を想像してください。そのような状況に直面したとき、私たちは自分が持っている知識と経験を総動員して、その局面にどうしたら対処できるのかを懸命に考えなければなりません。自分の知識と経験を全て活用し、なんとかして困難な局面を乗り越えようとします。その時、予め自分が持っている知識の量が多ければ多いほど、経験の幅が広ければ広いほど、困難な局面を克服できる可能性が高くなるのは言うまでもありません。

皆さんは今何をすべきか。明善での学習に真摯に取り組んでください。出会うすべての知識を真剣に身につけてください。学ぼうとする知識を「役に立つか、立たないか」という単純な軸のみで区別しようとする、経験した範囲内で予想できる場面においてしか、知識は威力を発揮しません。自分の知識を総動員しなければならぬ、予想もしていなかった困難な状況を乗り越えることはできません。

無駄な知識というものはありません。明善での学習に真摯に取り組み、深い知識、幅広い経験、豊かな感性を身につけ、予測不可能な時代を逞しく生き抜く人材となってください。

最後は、「自分の信念を磨いてほしい」ということです。

これから諸君が出会うであろう予測することが不可能な局面、想定外の局面の多くには正解というものはありません。自分の知識のすべてを動員して、最善であると自分が確信する自分なりの答えを

見つけ出さなくてはなりません。苦しんで、悩んで、歯を食いしばって、自分が確信する答えを見つけ、時には周囲の反対を押し切って判断を下さなければなりません。その判断の背景となるもの、その判断の土台となるものは、判断をくだすその人自身の信念です。どのような局面であっても、判断を下す際の最後の鍵は信念です。

明善には人としての高みを目指す文化があります。明善には自分とは異なる様々な個性を尊ぶ文化があります。明善高校がその長い歴史の中で育んできた文化に触れ、異なる個性の仲間と切磋琢磨し、人間性を高め、信念を磨いてください。

明善高校で素晴らしい学生生活を送れるよう、私たちは全力で応援します。学業に、様々な活動に全力で取り組み、充実した高校生活を送って下さい。新入生諸君の高校生活が充実したものとなることを祈念いたします。

令和2年5月
校長 高松 大輔